



第44回 九州大学附属図書館貴重文物講習会

武谷棕亭の足跡

— 武谷文庫からみる

幕末福岡藩の医事

武谷棕亭生誕200年記念 大阪大学・九州大学巡回展「緒方洪庵と武谷棕亭」(九大会場 2022年4月開催予定) プレ企画

2022年
1月26日(水)13:00-14:30

九州大学中央図書館
4F きゅうとコモンズ

講師 赤司 友徳
九州大学大学文書館 准教授

入場無料
対面 参加定員25名/オンライン同時配信

※新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じて実施方法を変更する場合があります

対面・オンラインとも参加申込が必要です
附属図書館Webサイトから2022年1月21日
までにお申し込みください
<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/events/45167>



九大の学祖の一人、武谷棕亭(名は祐之、1820~1894)の医師としての活動や彼が福岡藩の中でどのような医事に関わっていたのかについては、これまで史料が少なくよくわかっていませんでした。武谷家と九州大学附属図書館との寄託契約により、現在中央図書館で保管している武谷文庫は、父・元立(号は幽蕙、1785~1852)から義子・水城(名は豊、1852~1939)にわたる武谷家三代の記録や蒐集史料から構成されています。興味深いことに、この史料群から棕亭の事績やネットワーク、幕末福岡藩の医事にかかわる様々な問題が見えてきます。

今回の講演では、武谷文庫に遺された史料をもとに、武谷棕亭が幕末福岡藩の医事にどのようにかかわり、いかなるネットワークを持ち、近代化の過程でどういった役割を担ったのかを紹介します。

こちらも開催!

2022年1月11日(火) —

武谷文庫の小展示@中央図書館エントランス
緒方洪庵と武谷棕亭 電子展示

お問い合わせ
九州大学附属図書館 利用者サービス課
092-802-2481 touservice@jimu.kyushu-u.ac.jp